

# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の準備状況について

オリンピック・パラリンピック課

## 1 組織委員会・国の動き

### (1) 簡素化の検討

- I O C 総会 (7月17日)
  - 競技スケジュールを公表、会場は同一の施設を使用
- I O C 調整委員会会議 (9月24、25日)
  - 組織委員会とI O Cは、52項目の簡素化で合意
    - ・大会関係者：10～15%削減
    - ・競技会場：選手・関係者席、仮設施設、装飾面積削減
    - ・気運醸成：聖火リレー、ライブサイト等の実施形態見直し
  - 52項目の簡素化の効果を精査し、I O C 理事会で検討

### (2) コロナ対策の検討

- 新型コロナウイルス感染症対策調整会議の開催
  - 構成員 国、都、組織委員会
  - 会議内容 選手、大会関係者、観客それぞれについて、出入国措置や感染対策、医療体制の確保などを検討
  - 開催状況
    - 第1回 状況の確認、対策の枠組み
    - 第2回 アスリート等の入国管理、輸送等
    - 第3回 会場・選手村等のアスリートへの対応
    - 第4回 アスリートの保健衛生・医療・療養機能
  - 年内を目途に中間整理を予定

## 2 県の取組

### (1) 感染症と暑さ対策

全ての方の安心安全の確保に向け、大会同時期の7～8月に向け、感染症と暑さ対策を徹底的にチェックするテストを実施

#### ○ 大会期間中イベント会場(ソニックシティ)

- サーマルカメラなど、発熱検知機材のテスト
- 大型ミストファンなど、暑熱対策機材のテスト



発熱検知機材のテスト



暑熱対策機材のテスト

#### ○ 都市ボランティア(埼玉スタジアム2002)

- マスクやフェイスシールドなど、感染症対策を実施した上での活動の検証
- 床置き型エアコンなど、暑熱対策機材のテスト



案内ブースでの活動の検証



暑熱対策機材のテスト

# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の準備状況について

オリンピック・パラリンピック課

## 2 県の取組

### (2) 気運醸成

東京2020大会への期待を高める企画を段階的に実施し、開催気運の再浮上を図る。

#### ○ Web、SNSの活用

- ▶ 聖火ランナーの熱い思いを記事にしたWEBサイトの公開
- ▶ SNSを活用したキャンペーンを実施し、幅広い層へPR

#### ○ 教育動画を活用したオリパラ教育の実施

- ▶ パラアスリート、オリンピック、ボランティア、埼玉県の聖火リレー、大会を陰で支える人の5つのテーマで制作
- ▶ 競技体験教室に替え、小中学校でのオリパラ教育に活用

#### ○ 街中でのPR

- ▶ オリンピック聖火リレートーチを県内58市町で巡回展示
- ▶ 駅前の街頭ビジョンなどを利用した30秒間CMの放映



教育動画（パラアスリート）



オリンピック聖火リレー  
トーチの巡回展示

### (3) ボランティア

ボランティアのモチベーション維持・向上のため、大会の延期に伴う時間を活用し、本番の活動に直接結びつく研修を実施。

#### ○ 動画研修

- ▶ 活動場所や会場までのルートなどを確認し、本番の活動をイメージする

#### ○ 普通救命講習

- ▶ AEDを用いた心肺蘇生法や熱中症対策の講義と実技

### (4) 聖火リレー

- ・実施日数、ルート、ランナーは原則として変更なし
- ・組織委員会は簡素化の方針の下、隊列やセレブレーションの実施形態などを見直している

#### ○ 聖火リレー全区間実走の実施

- ▶ リレー実施と同時期に実施
- ・オリンピック・パラリンピック聖火リレー各区間の現況や所要時間を確認
- ・特殊な手段で聖火を運ぶ区間ではリハーサルを実施し、手順を確認



特殊な手段（船）で運ぶ  
区間でのリハーサル